

HSEオンデマンド講座

ClassNKのHSE鑑定サービス

2024年2月

一般財団法人 日本海事協会
交通物流部

内 容

1. ClassNK HSE鑑定サービスの概要
2. 初回鑑定の流れ
3. 初回審査 第一段階評価
4. 初回審査 第二段階評価
5. 報告書・鑑定証書の発行
6. 更新鑑定について
7. まとめ(ClassNK HSE鑑定のメリット)

ClassNKは、2017年よりHSE鑑定サービスを提供中

HSE鑑定サービスの概要

鑑定基準: ClassNK HSEマネジメントシステム鑑定基準
(OCIMF Health, Safety and Environment at New-building and Repair Shipyard and during Factory Acceptance Testing (2003) に基づく)

鑑定対象: 主に造船所、機器メーカー

鑑定の種類: ①初回鑑定、②更新鑑定(毎年更新)

2. 初回鑑定の流れ

1. 申し込み受付

2. 第一段階評価 (ギャップ評価 & HSE Plan評価)

3. 第二段階評価 (現地評価)

4. 報告書・鑑定書の発行

HSE マネジメントシステム鑑定の申込書

一般財団法人 日本海事協会 御中 年 月 日

申込者 組織名 _____ 社印または職印 _____

住所 〒 _____

貴協会の「技術サービス規則」を了承のうえ、HSE マネジメントシステムの鑑定を申込みます。

通 用	HSE マネジメントシステム評価基準
申込者情報	組 織 名 _____
	住 所 〒 _____
	相談/問い合わせ 氏名 _____ 役職 _____
	担 当 者 氏名 _____ 所属部署、役職 _____ (Tel.) _____ Fax. _____) (E-Mail) _____
対象事業	_____
鑑定範囲 に係わる人数	総人数 ■ _____ (正・副社長、取締役、専任役員、常勤の専任社員等を含む)
鑑定の希望時期	中間鑑定の希望時期: _____ 更新鑑定の希望時期: _____
備 考 本申込書に対応する弊会の提案書(見積書)、Ref. 番号、日付: _____	

本申込書に基づく鑑定の手数料等は、下記宛に請求願います。
☐ 上記申込者宛 ☐ 下記請求先宛

請求先名称 _____
住 所 〒 _____
Tel. _____ Fax _____
(E-Mail) _____

1 / 1

HSEマネジメントシステム鑑定の申込書

3. 第一段階評価(1) ギャップ調査

- (1) 本会より提供されるチェックリスト「HSEマネジメントシステム鑑定基準」を用いて、現在の組織の状況を自己評価。
- (2) 自己評価結果とともに「マネジメントシステム文書」を本会に提出。
- (3) 本会は、提出された自己評価結果及び文書を評価し、対応策が必要な場合、文書で通知。
- (4) 必要に応じて、対応策を協議(訪問してご説明)。
- (5) 対応策が完了後、「HSE Plan」を作成して本会に提出。

3 コミュニケーション

1	ツールボックスミーティング: ① 職長、作業主任者は始業前に作業員とツールボックスミーティングを開き当日の作業についてのリスク管理策を確認しているか。 ② 作業員は服装、安全衛生保護具、健康状態を相互確認しているか。 ③ 作業員は判らない事は必ず質問して理解できるまで聞いているか。 ④ 作業員は注意事項を「本日の危険予知ボード」等に記入しているか。 (TBM活動は日本で広く実践されているKY活動に相当する)。		2			
			4			
			2			
			1			
			9		0	
2	月例HSE協議会: ① 造船所は毎月1回造船所長、協力会社幹部出席のもと、「月例HSE協議会」を開催しているか。 【安衛法 30条】、【安衛則635条】、【造船元方指針】 ② 1ヵ月間に発生した事故・災害・ニアミス(ヒヤリハット)の状況、再発防止策、HSE管理項目、安全衛生目標の進捗状況等が報告されているか。 【造船元方指針】		4			
			4			
			8		0	

質問票「HSEマネジメントシステム評価基準」の項目例

3. 第一段階評価(2) HSE Plan評価

- (1) 本会は、提出された「HSE Plan」を評価し、必要な場合、改善すべき点を提案。
- (2) 必要に応じて、改善策を協議(標準Planの提供、訪問してご説明)。
- (3) 改善策が完了後、「HSE Plan」を完成し、本会に提出。

HSE Planに含めるべき項目例

1 一般 :	4.4 HSE 目標	6.3 環境への取り組み
1.1 目的	4.5 HSE 計画	6.4 保安への取り組み
1.2 適用範囲	5 実施及び運用	7 緊急事態への準備と対応
1.3 用語	5.1 組織の役割・責任	8 点検
1.4 基本方針	5.2 教育と訓練	8.1 HSE パフォーマンスの定期監視
2 リーダーシップとコミットメント	5.3 コミュニケーション	8.2 事故、負傷、ニアミス報告
3 HSE 方針	5.4 HSE カルチャー形成基盤	8.3 事故原因の調査
4 計画	5.5 文書・記録管理	8.4 是正処置・予防処置
4.1 リスクアセスメント	6 運用管理	8.5 HSE 内部監査
4.2 順守すべき法令等	6.1 現場安全への取り組み	8.6 マネジメントレビュー
4.3 変更のマネジメント(MoC)	6.2 健康への取り組み	

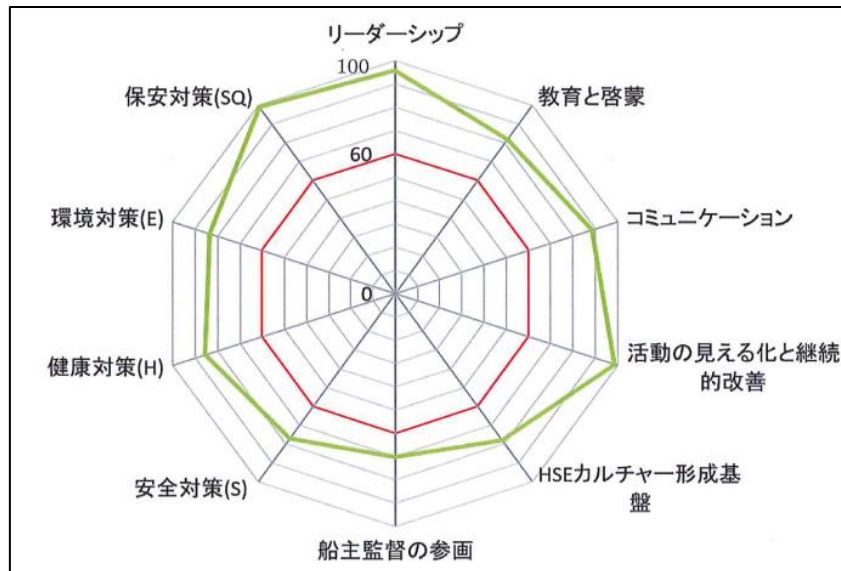
- (1) 組織の事業所(現地)において、「HSE Plan」に従って運用状況进行评估。
- (2) 現地評価は、要員の方々への面談、文書・記録等の検証及び観察 (構内巡視、作業の確認、安全装備・設備の確認等) により実施。
- (3) 現地評価が成功裏に完了した場合、現地評価のプロセスは完了。
- (4) 適合を確認できない事項があった場合は改善が必要。改善後にフォローアップ評価を実施。



現地評価の際に、必要に応じて法令の解説等も実施

5. 報告書・鑑定証書の発行

- (1) 評価結果は、本会の規定に従って審議され、適切な場合は鑑定書を発行。
- (2) 報告書には、評価結果の詳細を記載（レーダーチャートによる強み・弱みの分析、優良事例、改善の余地がある事例を示し、さらなる取り組みを支援）。



報告書(レーダーチャート)の例

NIPPON KAIJI KYOKAI

NIPPON KAIJI KYOKAI

Certificate No. HSE-012

HSE 鑑定証書

株式会社 [REDACTED]

所在地 : [REDACTED]

鑑定基準 : HSE 国際基準
Oil Companies International Marine Forum (OCIMF),
Health, Safety and Environment at new-building and
repair shipyards and during factory acceptance testing

鑑定範囲 : [REDACTED] の新造船事業

鑑定日 : 2022年3月22日、23日

組織のHSE活動の鑑定を実施した結果、経営トップ層が強いリーダーシップを発揮し、HSE活動が継続的改善を目指し力強く推進されていることが確認された。

発行日 2022年4月1日

J. Hiata

一般財団法人 日本海事協会
交通物流部長 平田 純一

ClassNK

HSE鑑定証書の例

初回鑑定実施後、組織の要望に応じて、毎年の更新鑑定を実施

- (1) 更新鑑定の流れ: ①申込受付→②中間鑑定(現地評価1回目)→③更新鑑定(現地評価2回目→報告書・鑑定証書の発行
- (2) 中間鑑定と更新鑑定の2回の現地評価により改善状況を定期的に確認。
- (3) 報告書では、前回鑑定との比較を数値的に行い、改善の進捗が見える化。

更新審査報告書(前回鑑定結果との比較)の例

(1)HSE の総合評価:

鑑定チームは組織の HSE 活動のレベルを OCIMF 国際基準に基づく ClassNK HSE 鑑定基準に照らし合わせて精査した。マネジメントの構築力、現場のオペレーション力とも評価は上がっている。

評価項目	今回鑑定 (2023 年 3 月)	前回鑑定 (2022 年 3 月)
マネジメントシステムの構築力 (レーダーチャート右 6 項目)	46.0	42.8
現場のオペレーション力 (レーダーチャート左 4 項目)	43.6	39.3
HSE マネジメント力 総合評価	89.6	82.1

ClassNK HSE鑑定のメリット

- (1) オイルメジャー等の顧客要望への対応が可能。
- (2) 自社の安全向上に第三者の視点を活用。
 - レーダーチャートによる強み・弱みの分析
→ 自社の状況を客観的に把握
 - 優良事例、改善が必要な事例を報告
→ やるべきことが明確化
 - 更新鑑定で改善の進捗状況を客観的に把握
→ モチベーションを維持

御社の安全向上にClassNK HSE鑑定の活用をご検討いただけると幸いです。

ご視聴ありがとうございました。

お問い合わせ窓口

一般財団法人 日本海事協会 交通物流部

TEL : 03-5226-2054

FAX : 03-5226-2176

E-mail : ltd-sr@classnk.or.jp

URL : www.classnk.or.jp